選択

2016.11月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 追想 バテレンの世紀―渡辺京二
51 西風
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

DNA鑑定や法医学の専門家もいない中、外国人や動物の骨までごちゃ混ぜにして千鳥ヶ淵に放り込む。戦没者も遺族も報われぬ事業に、予算だけが膨張する異常。いまだ還らぬ113万柱が役所の利権にされている。(110頁)

98 社会・文化●情報カプセル
100 **本当の「名医」の探し方**
■がん・心臓・脳」で現役医師が頼る二十人
104 **囲碁界ホープ「一力遼」の未来**――新聞社「跡取り」が目指す棋士の頂点
106 **何を今さら「ボブ・ディラン」**
■「大衆迎合」ノーベル文学賞の滑稽
108 **日本版GPS「準天頂衛星」に黄信号**――NEC「大失態」で三千億円の無駄遣い
日本のサンクチュアリ●シリーズ506
110 **戦没者「遺骨収集」事業**
■目に余る厚労省の「手抜きとデタラメ」
88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 美の艶話―齊藤貴子
94 本に遇う―河谷史夫
96 誤審のスポーツ史―中村計
114 マスコミ業界ばなし

経　済

60 **「新潟ショック」が促す電力業界再編**
■東電vs関電「原発連合」の陣取り合戦
64 **電通「異常事態」の真因**
■不祥事続発「王者」が抱える病魔
67 連載〈クローズ・アップ〉
益子 修(三菱自動車工業会長兼社長)――ユーザー愚弄する「社長居座り」
68 連載〈企業研究〉**小野薬品工業**――新薬バブル「暗転」で社業傾く三重苦
72 **日生の「三井生命買収」で悪事発覚**――禁じ手「株主差別」で儲けた面々
74 経済●情報カプセル
78 連載〈経営者東京裁判〉
井阪 隆一(セブン&アイHD 社長)――コンビニ覇者を凋落させる男
80 **日本で「独り勝ち」アマゾンに異変**――相次ぐ幹部離職と「独禁法」問題
82 スズキはなぜトヨタの軍門に下ったか――八十六歳「修会長」の惨めな晩節
84 【短期連載】豊田家の研究
章一郎と章男の「保有資産」――「錬金術装置」が生む巨万の富

収益を急増させたがん治療薬「オプジーボ」に大逆風。致死的な副作用の報告、競合薬の登場に、やまない高額薬価批判。この半年で株価は半値以下に転落し、市場の失望が底を打たない。期待の新薬に悪夢が続く。(68頁)

政　治

小池にないのはアンチ勢力と戦える側近と実動部隊。橋下維新を安倍が支持したような、権力の後ろ盾もない。恨みに燃える大物たちの反撃に、勢いは失速気味。切り札の新党も、ブームに乗れるかは微妙だ。(48頁)

42 連載〈土着権力の研究〉高知県 四国銀行――「地域断トツ」金融機関に迫る落日
44 政治●情報カプセル
46 **「輸入米」売買の深い闇**
■TPPで拡大する「国家貿易」の裏切り
48 **「小池劇場」を潰すのは誰々か**
■守旧派勢力が老獪な「包囲網」構築
52 連載〈政界スキャン〉安倍＝今井「経産政権」の構造的欠陥
密議で決まった自民「総裁任期延長」
■世論を無視する「強与党の驕慢」
54 **「憲法審査会」は只今サボタージュ中**――安倍政権に問われる改憲「本気度」
56 連載〈罪深きはこの官僚〉塩見清仁(東京都オリンピック・パラリンピック準備局長)――「ドンの走狗」豊洲問題のA級戦犯
58 連載〈政界スキャン〉

WORLD

3 連載〈巻頭インタビュー〉金井利之――地方創生は「弱い者いじめ」だ
●特別リポート
6 **北方領土「二島返還」の罠**
――激変する「日米中ロ」の安全保障
12 米社会を揺るがす「怒れる若者」――大政党を嫌悪する「格差・貧困世代」
14 英国で始まる「金融ビッグバン」第二弾――フィンテックとAIに国運賭ける
16 癒着する独スパイ機関と「ネオナチ」――「移民・少女連続殺人」の醜悪な真相
18 WORLD●情報カプセル
22 ロシアで「KGB」復活の動き――「経済苦境」プーチンの焦りが背景に
24 **サウジ原油が抱える「二重リスク」**
■日量二十万バレル「供給途絶」の現実味
28 タイ内政は血みどろの抗争へ――外資企業「脱出」が本格化
30 **香港「一国二制度」は崩壊の瀬戸際**
■独立派弾圧で「中国軍」が投入される日
32 汚染で死にゆく「ガンジス川」――地球環境にとっての大きな脅威に
34 **中国「日本人スパイ容疑者」の命運**
■不当拘束五人「見殺し」の安倍政権
36 **米中がもし戦争をしたら**
■米研究所「詳細予測」の衝撃的内容

日ロ接近は対中戦略というが、要の日米同盟は弱る。官邸は日ロ軍事協力にも意欲を見せるが、それは米国のアジア安保政策の再考を招くだろう。では尖閣有事の際、誰が日本を助けるか。ロシアのはずがない。(6頁)

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　朝日新聞社　読売新聞社　産経新聞社　など